

学用品や持ち物等について

☆ 学用品は「じょうぶさ」「使いやすさ」「安全性」「玩具性のないもの」などを考慮して準備し、貴重なものや高価なものは控えてください。

☆ 持ち物にはすべて名前（1・2年生はひらがな）を記入してください。

- 背負える鞆・・・両肩で背負えるもの。ランドセルでなくても構いません。
- 筆箱・・・取り扱いが簡単で、鉛筆が6本ぐらい入るもの。
- 鉛筆・・・鉛筆はBか2Bを5本と赤鉛筆を1本。
- 消しゴム・・・よく消えるもの。（おもちゃのようなものは避ける。）
- 下じき・・・一般的なサイズのもの。
- 上靴・・・バレースューズで、底がすべりにくいもの。

（甲とかかとの2カ所に、記名してください）



- 上靴入れ・・・巾着タイプが好ましい。（特に指定はありません）
- 体育館シューズ・・・底がゴムで、甲が隠れるもの。運動に適したもの。

（甲とかかとの2カ所に、記名してください）



- 体育館シューズ入れ・・・巾着タイプが好ましい。（特に指定はありません）
- ※上靴入れとは別に、もう一つ用意してください。
- ※下げた状態で40～50cm程度が望ましいです。

教室の壁のフックと床は、
70cmぐらいです。

- 体育の服装・・・運動のできる衣服

上…白色（ワンポイント程度のデザインは構いません）

下…黒、紺、紫系の色のハーフパンツ、または長ズボン（ライン等可）

帽子…赤白帽子（つばあり・ゴムひもつき）

（タグ等に、記名してください）

※ 冬季は、トレーナーやジャージ等を体操服の上から着ることもできます。その際は、体育専用のものをご用意ください。また、肌着も汗をかいた後に着替えられるように、をご用意ください。

- 体育着入れ・・・布製の巾着袋。（色・柄は自由。右下のように名前を付ける。）
- 週末に持ち帰ります。
- 冬場は、トレーナー・ジャージ等も入れます。



- 給食関係・・・巾着袋、給食ナフキン(縦横 40cm 程度)、マスク、はし、スプーン
- 手さげ袋・・・横長タイプで、粘土板が入る程度の大きさのもの。
(体育着袋、上靴袋、エプロン等を入れます。)

※ 机の横のフックと床は、50cm ぐらいです。

- 置き傘・・・廊下に掛けて保管。折りたたみ傘も可。柄に記名。
- その他

☆ 文房具等(枠の中が道具箱の中身です)

- ・カップのり(1年生のみ)・スティックタイプのり
- ・セロハンテープ(小型)・はさみ
- ・パス(16色ぐらい)・色鉛筆または全芯色鉛筆(クーピー)
- ・油性ペン(細字・極細が1本になったもの)

- ・油粘土・粘土板(1～3年生)

☆ 以下のものは、学校から配付したり、学校にあるものを使ったりするものです。

- ・教科書
 - ・黄色い帽子(1年生のみ使用)
 - ・防災ヘルメット(貸与)
 - ・タブレット端末
 - ・充電ケーブル(貸与)
- ※ケースはご家庭で用意していただきます。

学校から家庭への連絡について

たよりの多くは、きずなネットで配信します。

この配信は、天候にともなう行事等の有無や、交通状況の変化にともなう校外学習の学校到着時刻の変更、学校からの手紙・たより等の連絡にも利用しています。

登下校について

指定の通学路を通過して登下校します。危険箇所の有無や経路をお子さんと一緒に一度確認しておいてください。

[登校] 通学分団で班ごとに上級生と集団登校します。

※忘れ物は取りに帰らないように指導します。

[下校] 低学年は成長段階に合わせて、集団下校をします。

遅刻・欠席・早退について

- 欠席・遅刻の連絡は、きずなネットを通して行います。
- 各分団班には、出発時刻になったら学校へ向かうように指導しています。出発時刻に遅れる場合は、保護者の方と一緒に登校してください。
- 早退は、保護者のお迎えをお願いします。児童だけで帰ることはできません。

その他

学校ホームページに、学校の電話対応時間(8:15～16:45)などが載っています。ご覧ください。